

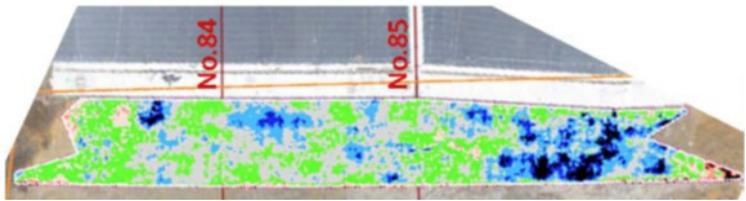
# i-ConおよびICT施工事例

1 枚に 1 技術を目安に記載願います

JCMA機電i-Con現場WG

発行No  
S-15

■技術名称	
3次元出来形管理	
■基本情報	
会社名	
工事名(発注者)	
活用工事分類	発注者指定 / 施工者希望 I 型 / 施工者希望 II 型 / 活用工事以外 (技術提案 / 創意工夫 / その他)
工種 (大項目)	ダム / トンネル / シールド / 造成 / 舗装 / 橋梁 / 構造物 / その他 ( 道路 )
工種 (小項目)	3次元出来形管理
ICT技術分類	①3D起工測量 ②3D設計データ ③ICT建機 ④3D出来形管理 ⑤3Dデータ納品 ⑥その他 ( )
■実施内容詳細	
対象数量	切土法面: 7段(約700m2/段)
実施回数・台数	7回(切土法面の1段毎)
実施期間	2017年4月 ~ 2017年 9月 (実働 計 6ヶ月の内7日)
施工段階での課題と解決方法 (1)	発生した課題: 計測業務を外注しているため、タイムリーな計測ができず、数日間の土工作業のロスが発生した。 解決方法: 現場職員が計測するなどの手段があるが、今回は見送った。
施工段階での課題と解決方法 (2)	発生した課題: SQCDEのどんな内容でも構いません 解決方法: 途中段階や、解決できなかった場合でも、意見・案などあればお書き下さい
施工段階での課題と解決方法 (3)	発生した課題: SQCDEのどんな内容でも構いません 解決方法: 途中段階や、解決できなかった場合でも、意見・案などあればお書き下さい

作成者氏名	
連絡先(アドレス)	
■参考図・写真	
	
出来形基準を満たしたヒートマップ	
■感想・要望事項	
<p>3次元出来形管理の費用については、共通仮設費の率に含まれているため、UAV空撮を何回しても費用は変わらない。当現場のように、7段の切土法面がある場合、1段毎に出来形を評価して、次工程に進む必要があるため、7回空撮を行う必要がある。現場状況に応じて、積算方法の変更あるいは設計変更の対象にして欲しい。</p> <p>1段分の切土法面面積が500m2程度であれば、3次元出来形管理より、従来の出来形計測の方がはるかに早いし、費用を抑えられる。そのため、施工はICT建機で行なうが、出来形管理については、従来方法を併用した方法があっても良いと思う。</p>	